

議題 1

平成 25 年度上半期の実績値について

1 評価の対象

京都市役所オフィス系関連庁舎

(市役所本庁舎, 消防局本部庁舎, 上下水道局本庁舎, 交通局本庁舎, 14 区役所・支所)

2 評価期間

平成 25 年度上半期 (平成 25 年 4 月から平成 25 年 9 月まで)

3 適合・不適合の判定方法

マニュアル 13「不適合 (取組不十分) 及び是正処置・予防処置」に基づき, 監視項目別に適合・不適合の判定を行う。

4 判定及び評価

平成 25 年度上半期の結果は, 次頁表のとおりである。

10 の取組項目中, 5 項目が適合, 5 項目が不適合であった (目標達成率: 50%)。目標を達成できなかった 5 項目については, 今後, 留意して取り組む必要がある。

(1) 目標値達成項目について

ア 電気及び都市ガスの使用量に関しては, 目標値を大きく上回る削減ができている。

イ 備品の環境対応品購入に関しては, 目標値を大きく上回り, ほぼ 100% 近い購入率を達成している。

ウ 古紙及びその他資源物の排出量については, 目標を大きく上回る削減できている。

(2) 目標値未達成項目について

ア 水道の使用量に関しては, 目標 47,125 m³ に対して実績は 50,393 m³ となり, 目標を達成できなかった。今後, 更なる節水を徹底していく必要がある。

イ ガソリンの使用量に関しては, 目標 95,273 ℓ に対して, 実績は 104,729 ℓ であり, 目標を達成できなかった。今後, エコドライブの徹底等を呼びかけていく必要がある。

ウ 一般廃棄物排出量に関しては, 目標 78,035kg に対して実績は 83,809kg となり, 目標を達成できなかった。今後, ごみの持込禁止や, 分別を徹底する必要がある。

エ コピー用紙消費量については, 目標 181,018kg に対して, 実績は 187,901kg

であり、目標を達成できなかった。電子文書の活用や裏面利用の徹底等の取組強化を図る必要がある。

オ 消耗品の環境対応品の購入率については、目標 85%に対して、実績は 79%であり、目標を達成できなかった。環境対応品があるものについては、環境対応品を購入することを徹底する必要がある。

表 平成 25 年度 K Y O M S 具体的取組項目の上半期実績

項 目		平成 25 年度目標	上半期目標値	上半期実績値	達成状況
電気使用量の削減	kWh	平成 22 年度比 12.5%削減 18,023,406→15,771,827	8,378,807	7,816,302	○
都市ガス使用量の削減	m ³	平成 22 年度比 15.3%削減 1,049,872→889,209	467,909	443,294	○
水道使用量の削減	m ³	平成 22 年度比 17.9%削減 114,379→93,924	47,125	50,393	×
ガソリン使用量の削減	ℓ	平成 22 年度比 2%削減 185,730→182,015	95,273	104,729	×
コピー用紙消費量の削減	kg	平成 22 年度比 1%削減 369,807→366,109	181,018	187,901	×
消耗品のグリーン調達の推進	%	環境対応品の購入率 85%以上	85%	79%	×
備品のグリーン調達の推進	%	環境対応品の購入率 95%以上	95%	99%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	平成 22 年度比 14.6%削減 174,110→148,690	78,035	83,809	×
古紙の分別回収及び排出量の削減	kg	平成 22 年度比 1%削減 626,229→619,967	332,441	281,782	○
その他資源物の分別回収及び排出量の削減	kg	平成 22 年度比 16.5%削減 67,152→56,072	29,892	29,391	○

(参考) KYOMS では、マニュアル 11「監視及び測定」において、環境管理責任者は各局等環境マネジメント実行責任者から提出された半期ごとの各報告書をもとに全体の環境目標の評価を行うこととしている。